



新潟県 一正蒲鉾(株) 『水産練製品を世界各国へ』

【主な品目】

水産練製品
(なると、ちくわ、カニかま等)

【主な輸出先国・地域】

米国、カナダ、香港、台湾、マレーシア、シンガポール、フィリピン、豪州、サウジアラビア 等

【輸出取組の概要】

- ◆ 水産練製品の輸出実績を積み重ね、現在は、なると、ちくわ、カニかまなどを中心に輸出。
- ◆ 顧客のニーズをつかみ、低温物流未整備地域でも扱える常温保存可能なカニかまを開発。
- ◆ 業務用だけでなく小売向けの販売を強化し、世界へのブランド発信を目指す。

【輸出実績】 (平成12年度以前から実績あり)

	輸出額(万円)	出荷時期
令和4年度	37,000	通年
令和3年度	37,000	
令和2年度	25,000	



【取り組む際に生じた課題】

- ・ 世界的に支持されるカニかまと比べ、一部の水産練製品は小ロットで輸出先が限定的であることから収益性が乏しい。
- ・ 天然着色料などの添加物は輸出先の規制によっては使用できない。
- ・ 温度管理が必要な商品はコールドチェーンが未整備の地域には不向き。



輸出商品のカニかま
「MARINE STICK Plus+」

【生じた課題への対応】

- ・ 輸出商品を、現地で支持され付加価値の高いものに絞り込み、主力商品を育成。
- ・ 輸出先の規制の状況や規制に適合する原料について調査を実施し対応。
- ・ 常温でも長期間にわたり品質が保持できる商品を開発。



輸出商品の「なると巻」

【対応の結果】

- ・ 輸出商品を絞り込み、製造負担軽減による収益性の向上。
- ・ 輸出先の規制に合致する原料を使用した商品製造が可能になった。
- ・ 輸出向け商品の開発により輸出実績が向上。

【今後の課題・展望】

- ・ 引き続き安全・安心を基本に、ユーザーに信頼され愛される商品・サービスを提供する。
- ・ 業務用に加え小売向け販売を強化し、自社ブランドを世界中に発信していく。
- ・ 漁獲量が減少傾向にあるウニ、魚卵等の代替商品を開発し、環境負荷の軽減に貢献。

【活用した支援・施策】令和元年度食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業

【ウェブサイト】 <https://www.ichimasa.co.jp/>

【連絡先】 担当: 海外事業部 TEL: 025-270-7502



常温保存可能な商品
「Sea Salad」